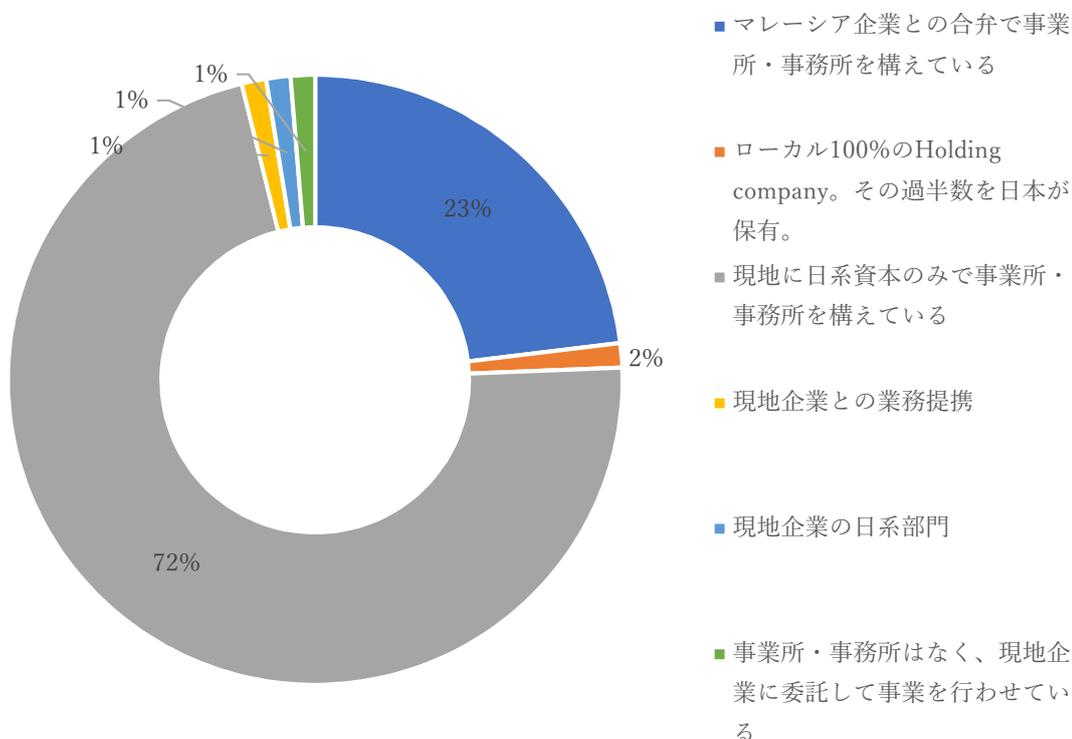
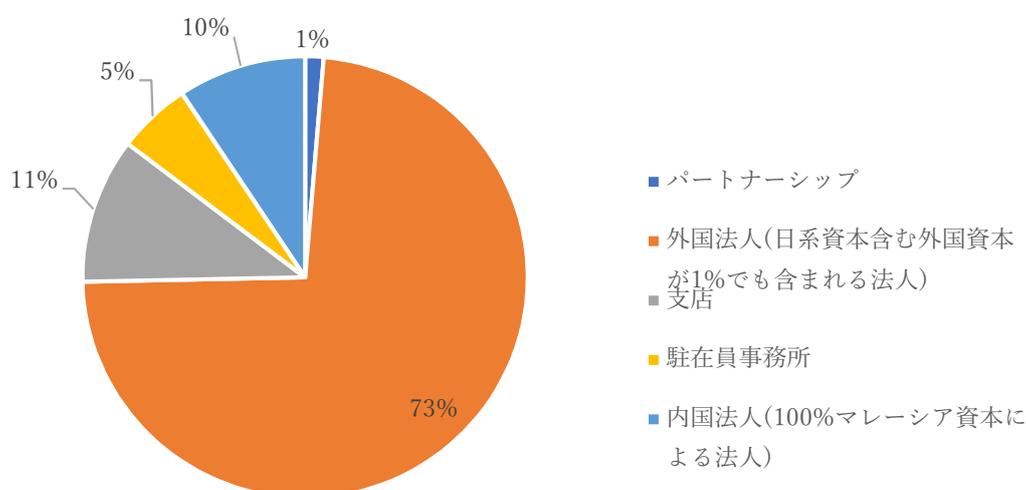


別紙2 基本的質問事項1(企業担当者様向け)集計結果(回答数78)

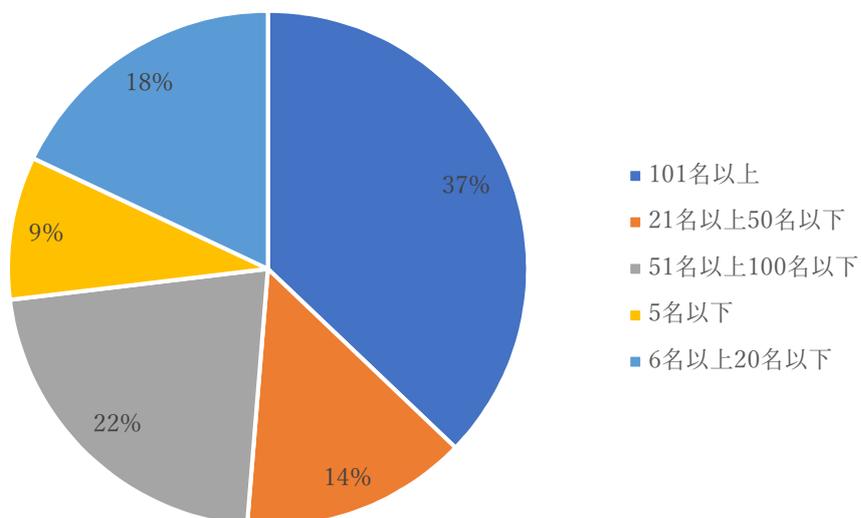
Q1-1. 事業形態を教えてください。



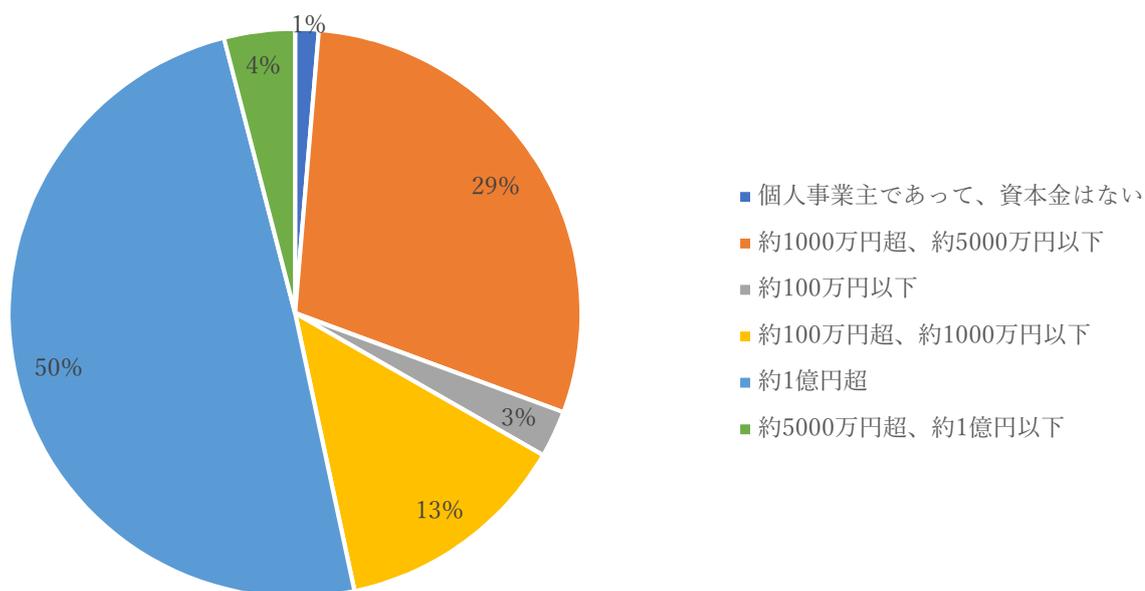
Q1-2. 現地に単独資本のみ又はマレーシア企業との合弁で事業所・事務所を置いている場合、その事業所・事務所の性質を教えてください。



Q1-3. その事業所・事務所の従業員(パートタイムを含む。)は何名いますか。



Q1-4. 資本金の額はいくらですか(日本円換算をお願いします。)



Q2-1. 現地駐在中・滞在中に直面した、又は直面している法的問題・トラブルについて教えてください(複数回答可。併せて具体的なトラブルの状況を記載してください。)。※法的トラブルについてはできる限り詳細に記載してください。何卒御協力いただければ幸いです。

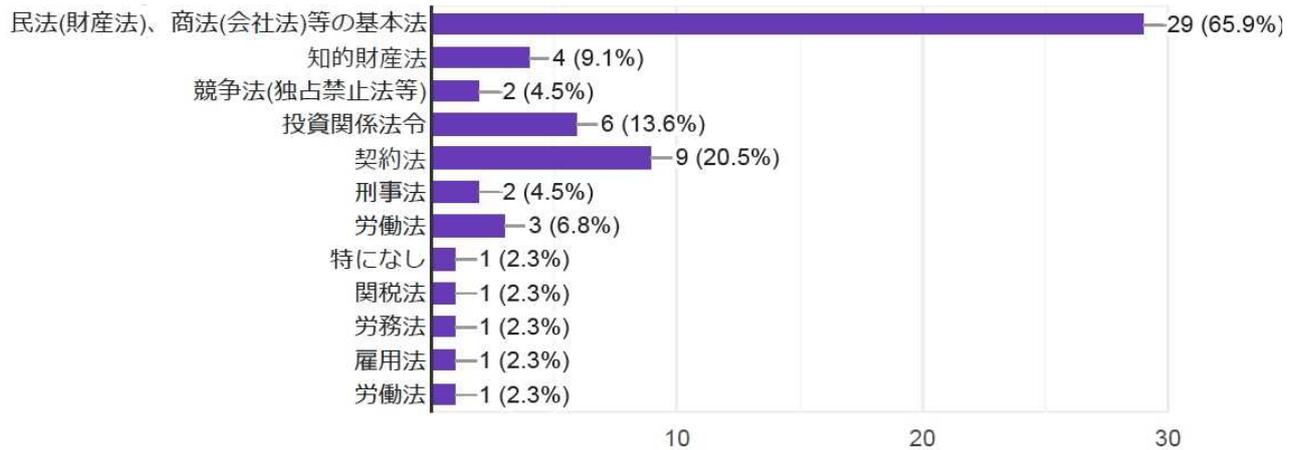


具体的な法的問題・トラブルの状況を差し支えない範囲で教えて下さい。

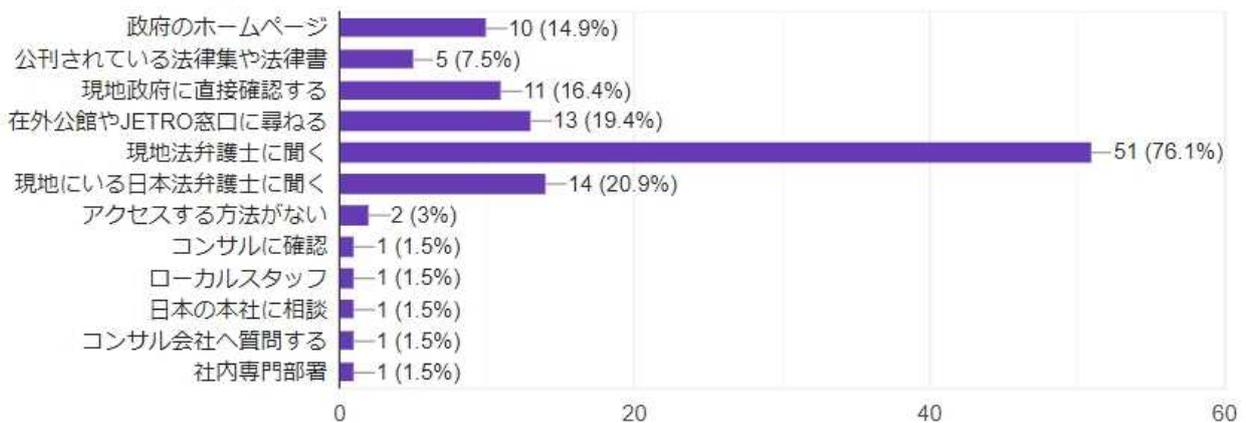
- 労務：社員の解雇、債権回収：Project 完成に伴う支払
- 労務：解雇時の問題、債権回収：過去に複数回有り
- アメリカ⇄イランに伴う貿易問題
- 労務：人員整理及び元従業員からのクレーム 債権回収：不動産賃貸契約に基づく Deposit 回収
- 米国顧客の倒産。回収不可。
- ライセンスの要不要について確認が難しい
- 労務：従業員による労務訴訟、債権回収：支払不履行
- 税制の変更
- 輸入物 HS コードの解釈
- 辞めてもらったスタッフからクレーム
- 取引：移転価格追徴課税、貿易：税関からのペナルティ、労務：外国人従業員逃亡、撤退：販売会社の清算
- 取引：サプライヤーの契約不履行、労務：解雇者の問題、債権回収：未支払い
- ビジネスライセンス、リストラ等
- 従業員の解雇に伴うもの
- 当初証券ライセンスの付与に関して当局が難色を示したため。
- 債権回収：先方が破産、回収不能。
- 投資：資本金として登記されている金額と実際投資額に差額、労務：クビにした従業員から訴えられた
- 労務：社員の定着率の悪さ、債権回収：ローカル客先の支払いの悪さ
- 債務者に返済の意思がない

- 解雇(自主退社→クレーム)
- トラブルでは無いものの課題
- 貿易：薬事法に抵触、労務：解雇、債権回収：遅延未収、撤退：デポジット未返納
- 労務：転職が多い、債権回収：政府系企業の回収が難しい
- 輸入品のマレーシア強制規格対応。

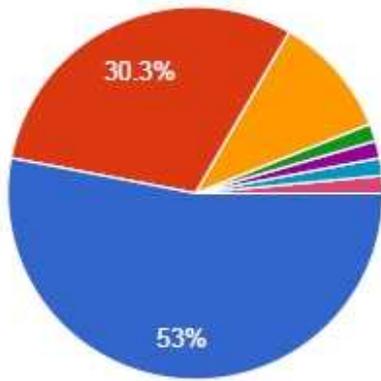
Q2-2. よく生起する法的問題・トラブルは、どのような法令に関連するものですか(複数回答可)。



Q2-3. そのような問題に直面した際に、問題となる法令にどのようにアクセスしていますか(複数回答可)。

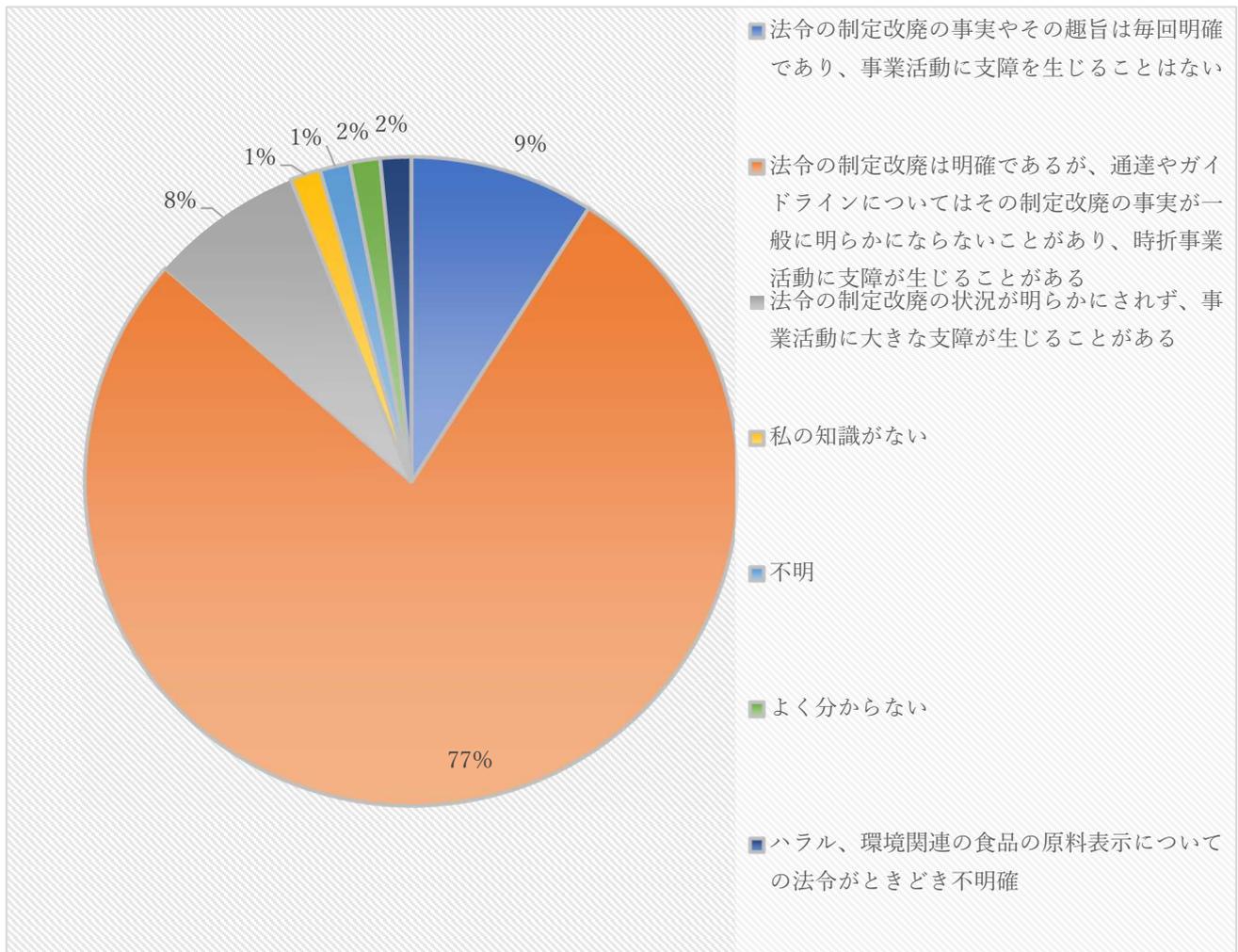


Q2-4. 知りたい法令の内容にアクセスできないことがありますか。



- ない(53%)
- 法律や政令にはアクセスできるが、通達やガイドラインにはアクセスできない又は著しく困難である(30.3%)
- 法律を含めおよそ法令全般についてアクセスすることができない又は著しく困難である(10.6%)
- ローカルスタッフによる確認(1.5%)
- 不明(1.5%)
- アクセスは出来るが解釈の相違がないか不安である(1.5%)
- 調べたことが無い(1.5%)

Q2-5. 現地法令の法的安定性についてどうお考えですか。



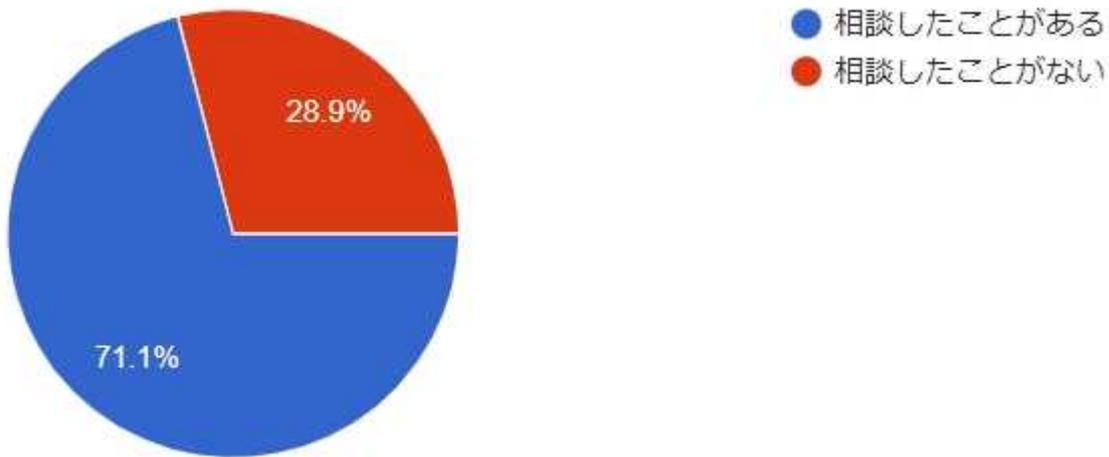
Q2-6. 現地の裁判制度についてどうお考えですか。

- 判断は安定しており、また裁判に要する費用や時間もリーズナブルであり、信頼できる…3人

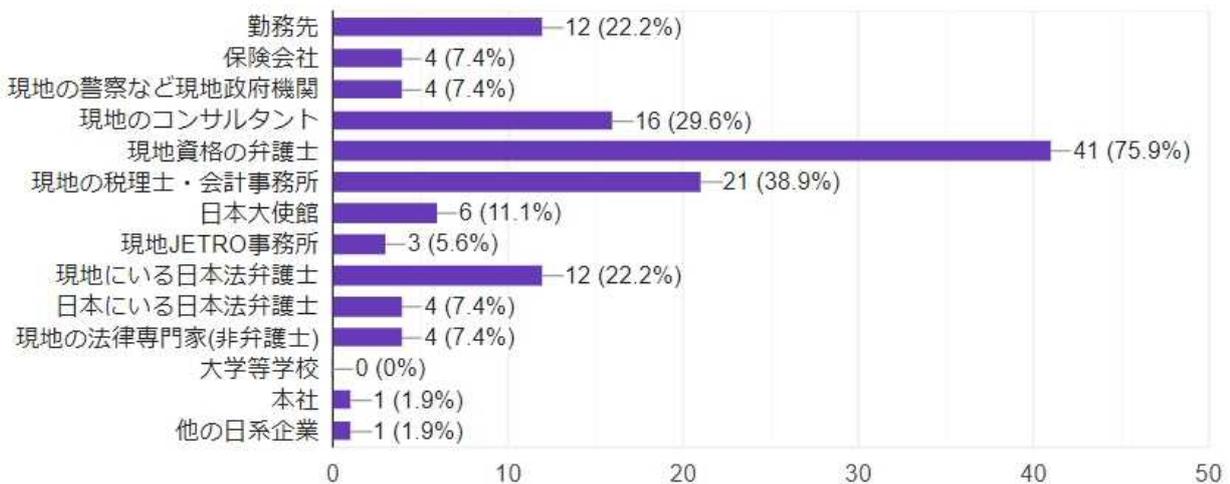
- 判断は安定しているが、費用及び／若しくは時間がかかり、リーズナブルではない…15人
- 費用や時間はかからないものの、判断は安定しておらず、信頼できない…9人
- 費用や時間がかかる上に、判断も安定しておらず、信頼できない…13人
- わからない…6人
- 無回答…19人

1. 相談先について

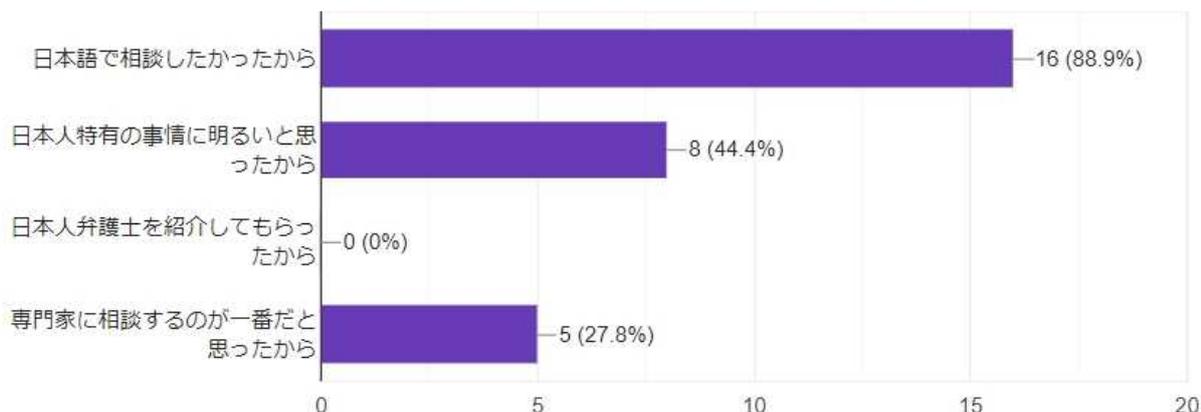
Q3-1. 法的問題に直面した際、誰かに相談しましたか。



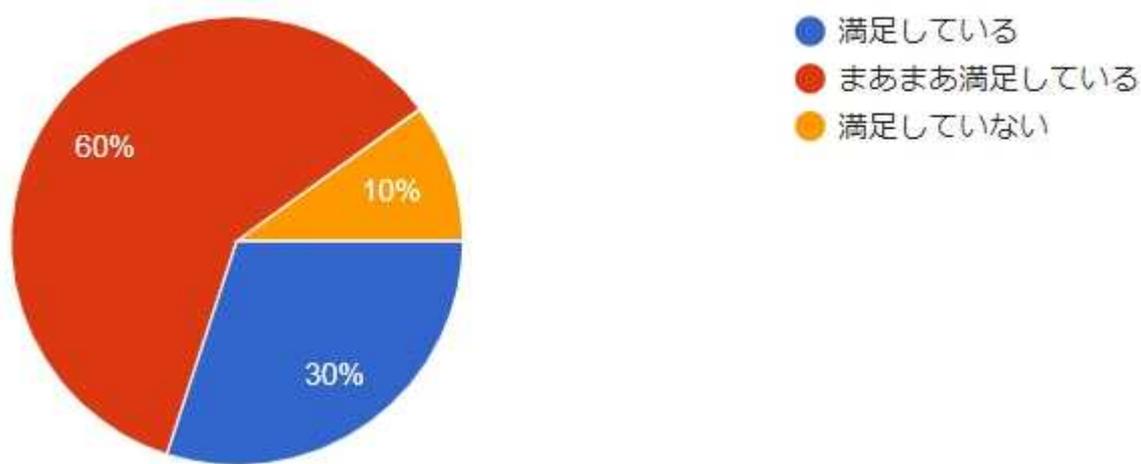
Q3-2. 上記 Q3-1 で「相談したことがある」と答えた方にお聞きします。具体的に誰に相談しましたか(複数回答可)。



Q4-1. 上記 Q3-2 で「現地にいる日本法弁護士」に相談したことがあると答えた場合、その理由を教えてください(複数回答可)。



Q4-2. 相談してみた満足感の程度を教えてください。



Q4-3. あなたの抱える問題の解決に当たり、日本法弁護士が効果的な支援を行った場合には、差し支えない範囲で弁護士の氏名及び所属と、同弁護士が採用した具体的方策について教えてください。

弁護士の氏名及び所属(1件の回答)

三澤 充氏 Chooi & Company + Cheang & Ariff 法律事務所

弁護士がとった具体的な解決方法(1件の回答)

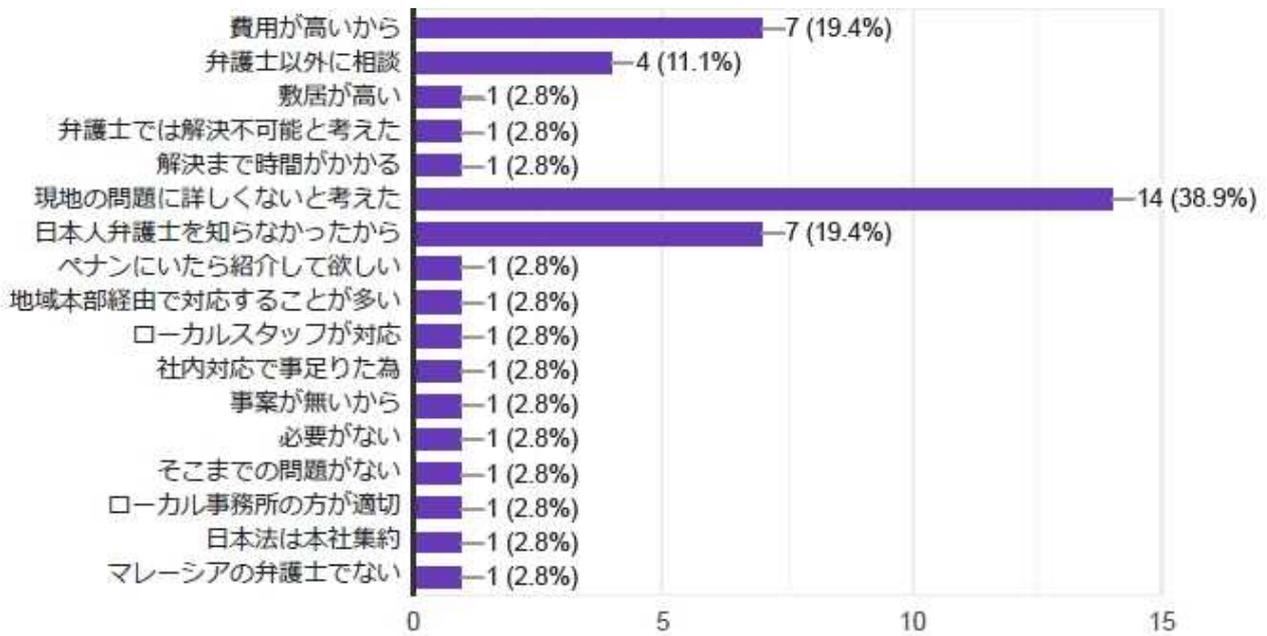
オピニオンレターの作成

Q4-4. 上記 Q4-2 で「まあまあ満足している」「満足していない」と回答した場合、その理由を教えてください。

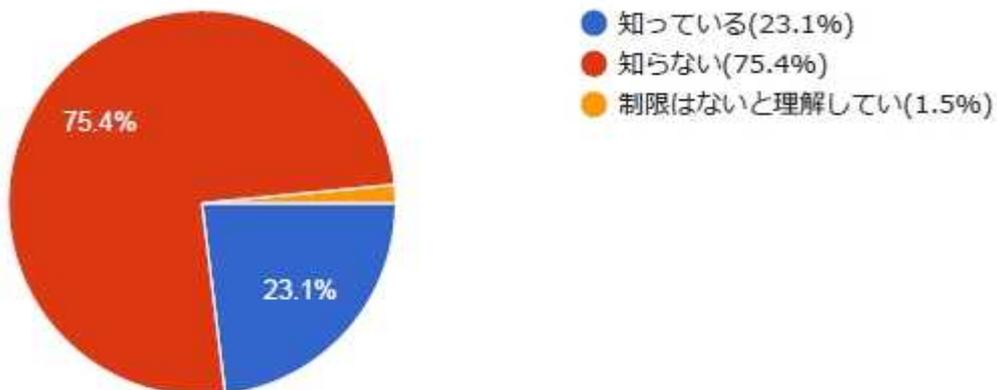
下さい。

- 一定の回答とアドバイスがあった
- 仕方がないと思うが、ハッキリした答えに到達できなかった
- 日本語での的確なアドバイスだったから
- 人によって意見がちがう時がある

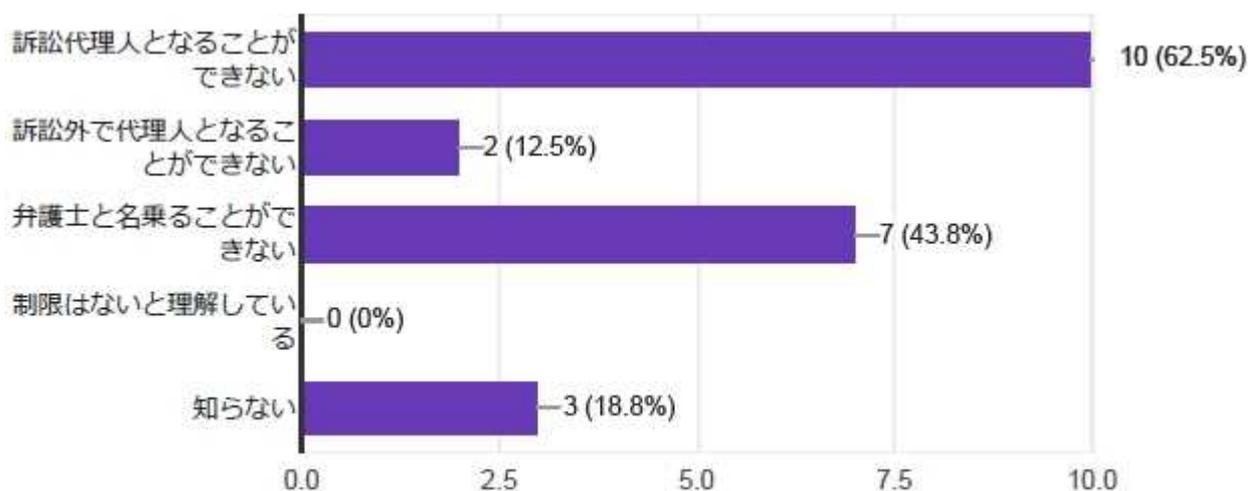
Q4-5. 上記 Q3-2 で「現地にいる日本法弁護士」に相談したことがあると回答しなかった場合、その理由を教えてください(複数回答可)。



Q4-6. マレーシアにおいて、日本法弁護士を含む外国人弁護士の弁護士としての活動について制限があるかどうか、ご存知ですか。

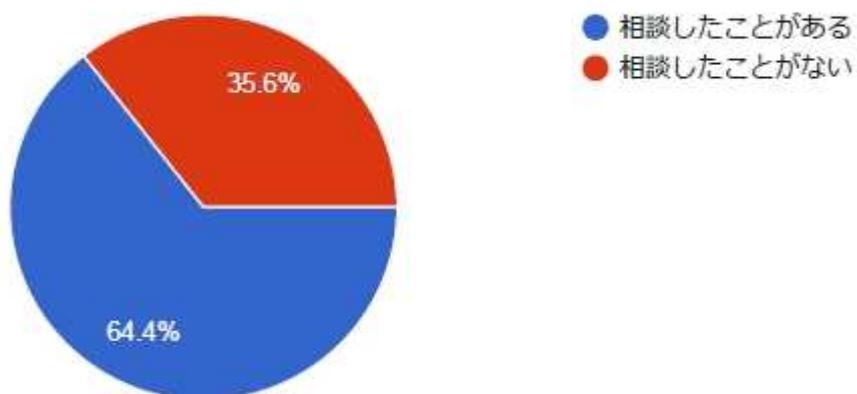


Q4-7. 上記 Q4-6 で「知っている」と回答した方にお尋ねします。マレーシアにおける外国人弁護士に対し、具体的にどのような活動に制限があるとお考えか、以下のうち当てはまると考えているものを教えて下さい(複数回答可)。



2. 現地資格の弁護士(マレーシア人弁護士)の活用の有無について

Q5-1. 上記 Q3-2 に関連しあらためて質問します。法的トラブルに直面した際に現地資格の弁護士に相談したことがありますか。



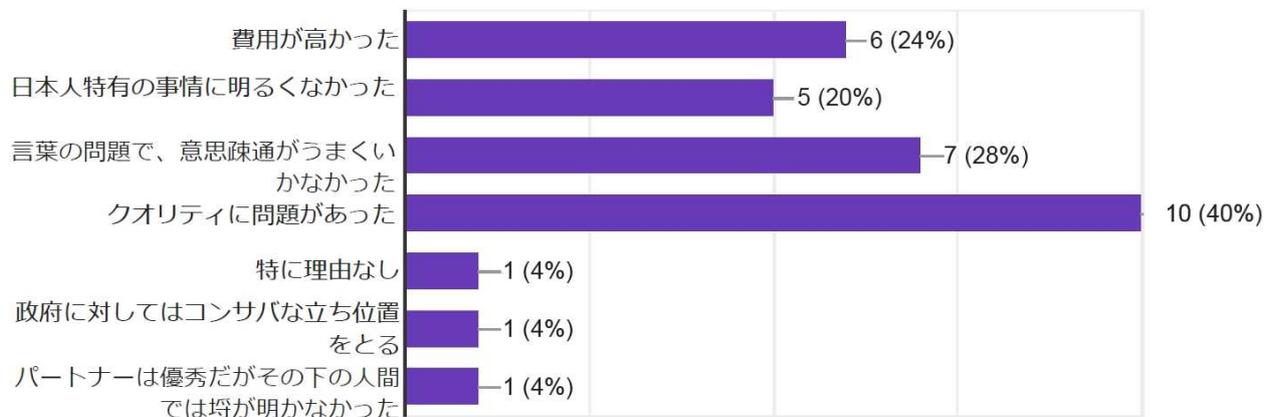
Q5-2. 上記 Q5-1 で「相談したことがある」と回答した場合、その理由を教えてください(複数回答可)。

- 現地法の問題については現地の弁護士に相談すべきだから…37人
- 日本法弁護士より詳しいと思ったから…11人
- 現地の弁護士を紹介してもらったから…6人
- 日本人弁護士より安価にサービスを受けられるイメージがあるから…8人
- その他…1名
 - 顧問弁護士ではないが兼ねてよりコンタクトがあった為
 - 当地駐在の日本人弁護士の存在を認識していなかったから
- 無回答…30人

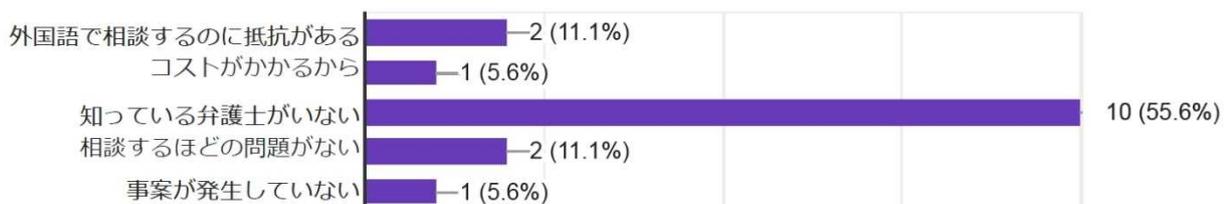
Q5-3. 上記 Q5-1 で「相談したことがある」と回答した場合、現地資格の弁護士に相談してみた満足感の程度を教えてください。

- 満足している…20人(42.6%)
- まあまあ満足している…24人(51.1%)
- 満足していない…3人(6.3%)

Q5-4. 上記 Q5-3 で「まあまあ満足している」「満足していない」とした理由を教えてください(複数回答可)。

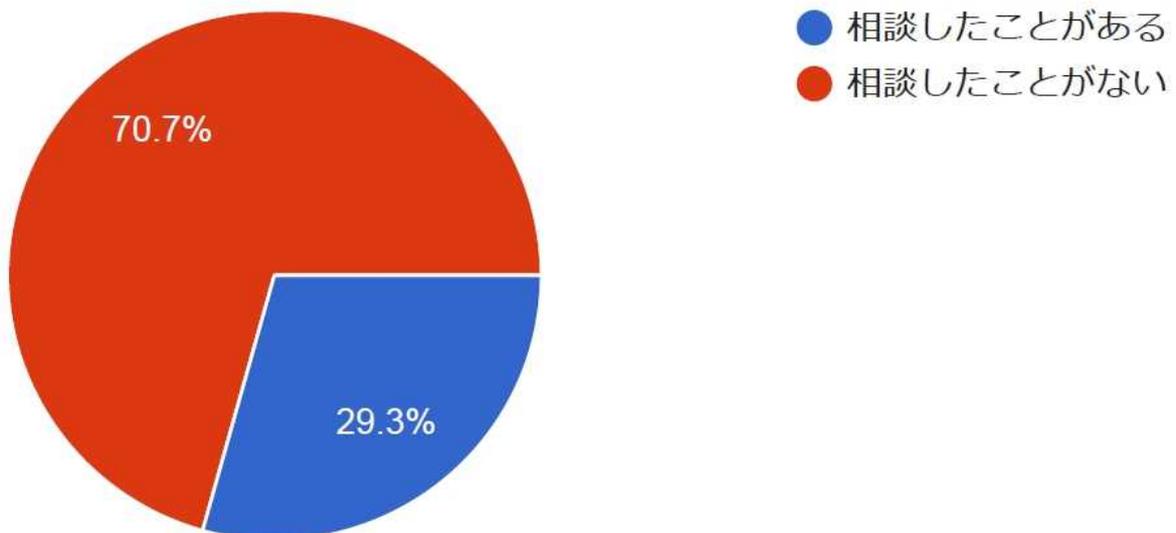


Q5-5. 上記 Q5-1 で「相談したことがない」と回答した場合、その理由を教えてください(複数回答可)。



3. 公的機関(在外公館及びJETRO)による日系企業等向け支援について

Q6-1. 事業を行うに当たって抱えた法的問題・トラブルについて在外公館やJETROに相談したことがありますか。



Q6-2. 上記 Q6-1 で「相談したことがある」と回答された方について、具体的にどこに相談されましたか。また、その機関への相談を選択された理由を教えてください(複数回答可)。

- 在外公館の日系企業等支援窓口…12 人
- JETRO 現地事務所(海外展開現地支援プラットフォーム)…10 人
- その他…1 人
 - JACTIM

相談を選択された理由(1 件の回答)

テロ関連

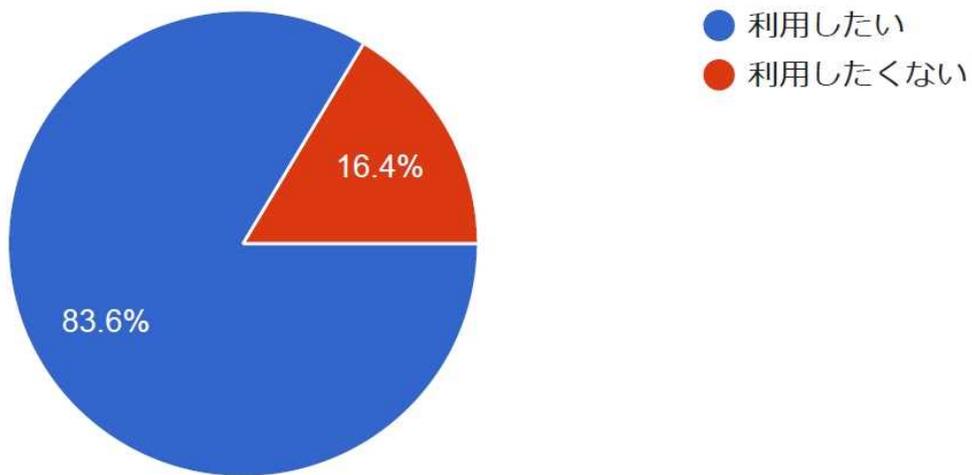
Q6-3. 上記 Q6-1 で「相談したことがない」と回答された方について、その理由を教えてください(複数回答可)。

- 在外公館やJETROが対応してくれることを知らなかった…17 人(50%)
- 在外公館やJETROから遠隔地にあり、相談に行けなかった…1 人(2.9%)
- 公的な機関なので近寄りがたかった…6 人(17.6%)

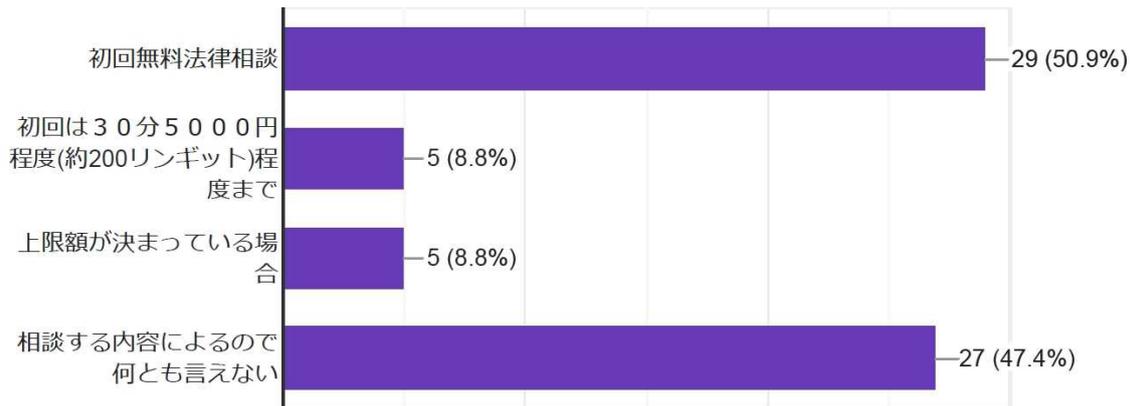
- 他に相談できる場所(日本人会等)が身近にあった…10人(29.4%)
- その他…5人(14.5%)
 - 有益なアドバイスがもらえないから(現地弁護士と比べて)
 - 特に法的トラブルにあったことがない
 - 身近でなかった
 - 事案が無いから
 - そこまでの必要がなかったから

4. 日本法弁護士へのアクセスについて

Q7-1. 日本法弁護士に現地で相談できる窓口があるなら、利用したいですか。



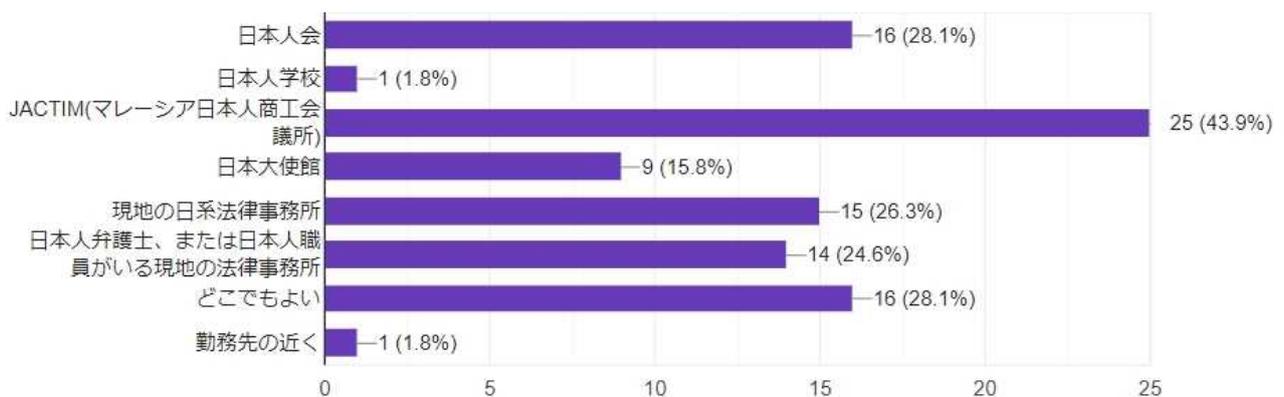
Q7-2. 上記 Q7-1 で「利用したい」と回答した方にお聞きします。どういった料金体系を希望しますか(複数回答可)。



Q7-3. 上記 Q7-1 で「利用したい」と回答した方にお聞きします。日本法弁護士の現地での相談について、どのような条件が整っていることを希望しますか(複数回答可)。

- 日本法弁護士の人数がもっと増えると相談しやすい…11人(20.4%)
- なるべくトラブルに巻き込まれている事を知られない方法で相談したい…10人(18.5%)
- 料金体系を事前に明確に知りたい…36人(66.7%)
- その他…4人(7.6%)
 - 現地の法制度をしっかりと知っている
 - マレーシアでの実績や経験
 - 現地弁護士と共有した上での回答を得たい
 - 何の相談できるかを知りたい

Q7-4. 上記 Q7-1 で「利用したい」と回答した方にお聞きします。現地相談窓口がどこにあると利用しやすいと考えますか(複数回答可)。



Q7-5. 上記 Q7-1 で「利用したくない」と回答した方にお聞きします。利用したいと思わない理由を教えてください。

- ローカルスタッフが主導で動いているため。
- 顧問弁護士がいる。
- 現地にて処理すべき。
- ローカル担当者含め、日本語の必要性がない。
- 特に必要性を感じない。
- おそらく費用が非常にかかると思うから。
- ローカル法以外無駄だから。
- 現地の問題は現地の弁護士に相談すべきと考えます。
- 現地の専門家で十分だと感じる。
- 現地弁護士で事足りるので。

以上